

2015年12月22日
株式会社日立製作所

アンサルド STS が米国のマサチューセッツ湾交通局向け信号システムを受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:Stefano Siragusa/以下、ASTS)は、米国のマサチューセッツ湾交通局(Massachusetts Bay Transportation Authority、以下 MBTA)が運営する Commuter Rail Line の全路線に向けた PTC(Positive Train Control)システムを、3億3,800万ドル(約410億円)で受注しました。

ASTS は、世界中でターンキープロジェクトを取り纏めた実績を有しており、今回の受注は、ASTS の北米における鉄道システムのインテグレータとしての高い技術力が認められたものとなります。

本受注において ASTS は、PTC システムの設計、インテグレーション、関連製品の発送、車上・地上装置の据え付け、稼動試験、技術サポートや仕様書の作成などを行います。

提供する PTC システムは FRA(Federal Railroad Administration : 米国連邦鉄道管理局)の規定に準拠したものであり、MBTA が運営する Commuter Rail Line の全路線に導入されます。

アンサルドSTS社 CEO ステファノ・シラグーサ(Stefano Siragusa)のコメント

「MBTA とともに、新しい PTC システムの導入に取り組むことを誇りに思います。当社の技術力や、実績のある製品により、MBTA に安全なシステムを提供できると確信しています」。

ASTS は鉄道システムのグローバル市場におけるリーディング企業です。米国、豪州および世界各国において、最先端の技術を100年以上にわたり開発・提供しています。

日立は、新しく日立グループに加わった ASTS の信号システムの豊富な経験・実績を活かし、世界規模での鉄道システムの発展に貢献していきます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
